199　社殿　　吉備津神社　本殿及び拝殿　　一棟　　室町時代（1425年）

本殿：正面五間（背面七間）×八間　一重　比翼入母屋造　桧皮葺

拝殿：三間×一間　一重　正面切妻造　背面本殿屋根に接続　桧皮葺

三方裳階付　裳階本瓦葺

備中一の宮として知られる吉備津神社の創立はきわめて古く、現在の本殿及び拝殿は明徳元年（1390）足利義満が再興し、応永 32 年（1425）落成したものである。

比翼入母屋造という入母屋造を二つ並べた本殿の屋根など、本殿、拝殿とも特徴のある中世神社建築である。全体として規模が大きく、意匠、構造ともに他に例を見ない神社建築の異色作である。

岡山市吉備津 931　　086（287）4111　　JR吉備線吉備津駅下車徒歩約 15 分

境内自由　　～18：00